

今市小だより

令和時代に心(こころ)磨きを

学校のテーマ伝えよう 今小プライドを
児童 247名・職員 32名



「チーム今小」：隆盛期

第8号 令和2年11月20日

発行者 日光市立今市小学校

校長 石川 僚一



初霜の候、「持久走大会」「縄跳び運動」の練習を通して、体力づくりに励む姿がとても頼もしく思う毎日です。初氷や初雪の便りも全国各地で聞かれ、いよいよ冬の到来も間近となりました。ウィンタースポーツが盛んな日光市にとってこの季節は数々の歴史や伝統を築いてきた季節でもあります。スケート教室も実施され学校行事で活動する子どもたちは元気いっぱいです。秋は多くの行事で児童の様々な活躍ぶりを見ることができました。「行事は子どもを育てる」は私の教育観でもあります。これからも保護者の皆様、地域の皆様とともに子ども達の活躍ぶりを賞賛し育てていきたいと思ひます。今後とも御理解・御協力の程宜しくお願ひします。

1 学校教育目標 一人一人の個性や能力を尊重し、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな創造力に富んだ児童の育成

☆ 日光市に生まれたことを誇りに思える児童の育成 ☆

○よく考え学ぶ子(知) ○明るく思いやりのある子(徳) ○進んで体をきたえる子(体)



目指す学校像

「子どもの夢や希望を実現する学校」

目指す児童像

あたり前のことをあたり前に出来る児童
「凡事徹底」による定着・育成

目指す教師像

情熱と信頼を兼ね備えた学び続ける教師

今年のテーマ

今小 もっと 前へ Imasho Go ahead!



1. 10/21~22(水~木) 6年生修学旅行：福島・那須方面

待ちに待った修学旅行が無事スタートできました。初日は福島県猪苗代町・ホテルリステル猪苗代「ツリーアクティビティ」や野口英世記念館、鶴ヶ城見学に行きました。



スキー場の一角にあるアスレチックに挑戦しました、地上8mの高所をロープで渡る活動です。下から見る様子と違って、いざスタート地点に立っていると空中にいるようでとても高く感じたようです。記念館では10/9(金)に記念会の方が本校に来校され、出前授業をしてくださったことを思い出しながら見学しました。復元された生家には、囲炉裏もありました。鶴ヶ城(会津若松城)では4階の天守閣まで登り、会津若松市を一望しました。昔の武士と同じ気持ちでこの素晴らしい景色を見ていました。ホテルに入り一日の振り返りと翌日の予定の伝達は班長会議で行いました。朝早くからの活動でしたが、よりよい行動をめざし、確実にステップアップしている6年生一人一人の真剣な眼差しに心を打たれました。



ハイランドパークのたくさんの乗り物に乗り、楽しく過ごしました。5~6人のグループで考え方もそれぞれある中、次にどう行動するか、問題をどう解決するか。それぞれの意見を出し、最良の案を考えていました。大人にも勝る姿で、時間を守りあいさつをしっかりと行うなど凡事徹底に努めることができました。そしてルールやマナーを守り、今市小学校6年児童として立派な態度で過ごすことができ、今小プライドがそれぞれの胸に輝いて見えるようでした。子どもたちは、一生に一度の小学校の思い出ができたことと思ひます。



(HP「今小だより」参照)